

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
 II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
 III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
 IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
 V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

学校名【 広島県立府中東高等学校 】

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	高等学校3年生 3年3組 男子23名（うち1名はケガにより見学）
3 展開の形式	（ ○ ）教科で実施 教科名（ 体育 ） （ ）教科以外で実施 （ ）
4 目標（ねらい）	トップアスリートをお迎えし、スポーツを通して体動かすことの楽しさ、意義を体験し、国内外で行われるスポーツの興味・関心を高める。
5 取組内容	事前学習：サッカー部顧問の協力を得て、福田正博氏の人物像・来歴について紹介する。 実施内容：サッカーボールを使用したウォーミングアップからシュート練習、福田氏の指示による1対1、2対2、3対3などのミニゲーム、PK 勝負（2チーム） 事後学習：アンケートによる振り返り
6 主な成果	<ul style="list-style-type: none"> 授業の中では開始直後と終末では生徒の表情や取り組み姿勢が全く異なりいきいきとした姿勢がうかがえた。 サッカーという競技を通じてコミュニケーションをとることの大切さを生徒たちが実感していた。（生徒の授業中の会話の中から） 協力する・フォローしあう・成功体験を重ねるなどの生徒の心を動かすものであった。 サッカーを得意としない生徒や、運動が苦手な生徒に関わらず、生徒全員が授業に前向きに取り組み1つのプレーに熱中して取り組んでいた。
7 実践において工夫した点（事業の特色）	講師からの依頼もあり、サッカー部顧問の教員と教科担任も活動に参加した点。
8 主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> 生徒自身に話し合う時間を設定するとより実技も深まったのではと考えた。 事前学習をふまえ、実技だけでなく質疑などアスリートと対話をする機会を設定すると、生徒により貴重な経験となったのではと感じた。
9 来年度以降の実践予定	今年度は当該クラスのみ活動だったが、来年度以降に機会があれば講演会などで、全校生徒も時間を共有し、実技もより多くの生徒と関わる時間にできればよいと感じた。 （実際に該当しない生徒が休憩時間に福田氏に声をかけたり、「僕も参加させてください」と懇願する生徒もいたりした実態がありました）